

日本 AALA 第 55 回定期大会アピール

9 条改憲を許さず、基地のない平和・安心の日本を！ 軍事同盟強化ではなく、「非核・非同盟・中立」の平和外交が力を発揮する時

10 月 31 日投開票の総選挙の結果、野党共闘勢力は小選挙区を中心に議席を伸ばし、自公政権側は議席を減らしたものの、改憲の前のめりの維新などを加えると、改憲勢力が引き続き 3 分の 2 以上の議席を占めるという結果となりました。

岸田政権は、米政権に追随し、日米軍事同盟を強化して、台湾海峡の対立に介入するなど西側の対中包囲網の先兵の役割を果たそうとしています。県民・国民の意思を無視して沖縄辺野古米軍新基地の建設強行やミサイル配備、日米共同作戦の強化に突き進んでいます。日本 AALA は 9 条改憲策動を許さず、憲法 9 条を基礎にして非核・非同盟・中立の日本、基地のない沖縄・日本をめざして世界の反核・平和の大きな流れに合流していく連帯運動を進める決意をしています。

核兵器禁止条約には昨年末に批准国が 50 を超え、今年 1 月に発効しました。現在署名国は 86、批准国は 56 カ国になっています。ヒバクシャの方々、世界の市民の運動そして非同盟諸国が力を発揮した結果であり、こうした流れは押しとどめようがなくなっています。また、世界中で若者が立ち上がり、地球温暖化防止の即時行動をもとめており、女性たちが中心にジェンダー平等を求めて各地で行動をおこしています。この世界と日本の流れを強めましょう。

いま日本 AALA は第 7 次「戦争するな！どの国も 国際署名」を多くの団体や人々とともに進めています。「国際署名」は東アジアでの紛争解決や平和に貢献するものと考えます。日本 AALA は 11 月 6 日の定期大会で、“平和と公正な社会をめざす 世界を知って、日本を変えよう”の活動方針を決定しました。

憲法 9 条を守る様々な運動と合流して、今こそ「非核・非同盟・中立」の AALA の活動が大いに力を発揮する時だと考えます。来年 7 月の参議院選挙に向けて平和憲法を守るため大いに奮闘しましょう。

2021 年 11 月 16 日

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会